

# 地域医療を支える医師

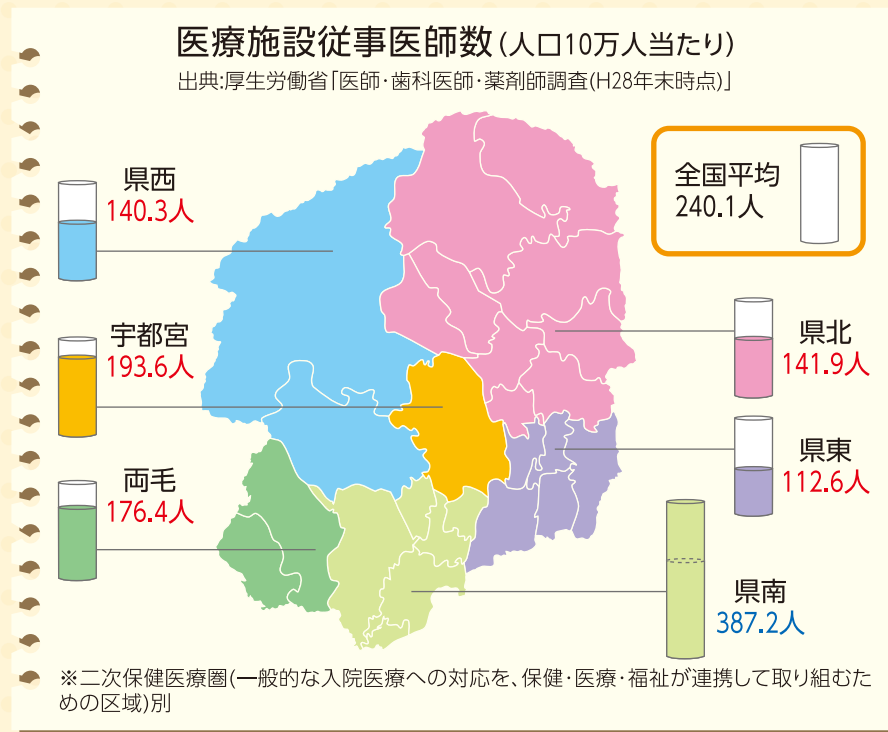
～県の養成医師が活躍しています～



高齢化が進む中、栃木県では「地域住民の生活に密着した医療」を支える医師の不足が深刻化し、その確保が課題となっています。今回は、県が行う医師養成の取り組みを、地域の医療を最前線で支えている医師たちの声とともにご紹介します。

## 栃木県の医師不足の現状

栃木県の医師数は年々増加しているものの、その増加率や人口当たりの数は全国平均以下の状況が続いています。地域別で見ても、全国平均を超えているのは大学病院が2施設ある県南地域のみで、各地域の医師不足解消が重要な課題となっています。



## 医師を育てる県の取り組み

県では、地域住民の健康を守る地域医療の確保を目的に、医科大学、医療機関、医療関係団体などと協力して医師の養成を進めています。

### 医学部の定員増(栃木県地域枠)

自治医科大学・獨協医科大学と連携し、栃木県の地域医療に貢献しようとする方を「栃木県地域枠」入学者として選抜し、入学金や授業料を貸与しています。卒業後、県内の公的医療機関等で一定期間勤務すると、返還が免除されます。

現在、自治医科大学卒業医師37名、獨協医科大学卒業医師16名が勤務しています。

### 栃木県医師修学資金制度

県内で不足している診療科の医師を確保するため、奨学金を貸与しています。医学部を卒業後、県内の公的医療機関等で一定期間勤務すると、返還が免除されます。

現在、小児科や産科の医師8名が勤務しています。※現在は産科を対象に新規貸与しています

### 医学生等を対象とした合同説明会への出展

県内10の臨床研修病院と連携し、医学生向けの合同説明会へ出展しています。各病院での研修プログラムや研修環境、雰囲気等を紹介するとともに、医学生などからの個別相談にも応じています。

### 臨床研修病院見学バスツアー

医学生が、将来栃木県内に勤務するきっかけとなるよう、県内の臨床研修病院を見学するバスツアーを開催しています。



ツアーではドクターヘリも見学

## インタビュー Interview

県内の公的病院やへき地診療所では、県の養成医師が活躍しています。日々、患者と向き合う4人の医師に、そのやりがいや医師を目指す医学生へのメッセージなどをお聞きしました。



### 地域医療を支え、信頼に応えられる医師になりたい

上都賀総合病院産婦人科 鈴木 綾乃 医師  
平成25年獨協医科大学卒業(栃木県医師修学資金制度利用)

#### Q産科医としてのやりがい、苦勞は何ですか?

診察した患者さんが、母子ともに元気で退院したときや、つらい症状がなくなって喜んでいただけたときにやりがいを感じます。一方で、治療法について、患者さんの心に負担を掛けないようにしつつも、十分に理解してもらえよう説明することが難しいです。

#### Qこれからの目標を教えてください

目の前の患者さんにとっての最善が何かを常に考え、その信頼に応えられる医師になりたいです。支えてくれる家族や周囲の方への感謝を忘れず、日々精進していこうと思います。



### 地域の人の生活に寄り添う医療に魅力を感じて

上都賀総合病院産婦人科 鴨澤 千尋 医師  
平成21年自治医科大学卒業

#### Q2人のお子さんを育てているそうですが、仕事との両立は?

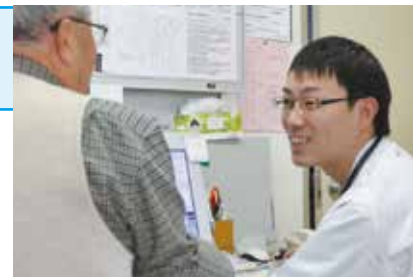
育児のために分娩や手術の場から離れざるを得ない医師もいますが、周囲の理解と協力のおかげで、家族との時間も取りながら働いています。妊娠・出産をしたことで、より患者さんに寄り添った診療が行えるようになるなど、その経験は医師としての成長につながっています。

#### Q医師を目指す後輩へメッセージをお願いします

医師は大変なこともあります。自分の知識・技術が直接患者さんの役に立つ仕事です。特に産婦人科は、出産という「奇跡」に立ち会うことができ、とてもやりがいがあります。共に地域医療を担う、多くの仲間ができるとうれしいです。

## 健康寿命の延伸も 地域医療の役目

日光市立国民健康保険栗山診療所  
篠原 翔一 医師  
平成25年自治医科大学卒業



#### Q診療所は医師一人とのことですが、大変では?

栗山診療所はへき地診療所という位置づけで、山間部の700人ほどの地域住民を対象に一人で診療をしています。専門にとらわれず、多くの領域の患者さんを診ることには難しさもありますが、他では得られない貴重な経験になっています。

#### Q普段診療をする上で心掛けていることは何ですか?

地域医療には、病気を治すだけでなく健康寿命を伸ばすことも求められます。毎日の診療では患者さんの健康状態に気を配りながら診察・指導をし、健診や住民向けの健康教室など、健康増進活動にも取り組んでいます。

#### Q医師を目指す後輩へアドバイスをお願いします

医師は、学生時代だけではなく、生涯勉強しなければならない職業です。自分の理想の医師像を常に抱いて、何事にも高いモチベーションで取り組むといいと思います。

## 誕生という、人生の始まりを支える魅力的な仕事

佐野厚生総合病院産婦人科 和田 善光 医師  
平成28年獨協医科大学栃木県地域枠卒業



#### Q医師になる前となった後で、その印象に違いは?

学生の頃は、病気のことやその治療法についてひたすら勉強していました。しかし医師になってからは、患者さんや家族の心にも配慮した治療を考えることが、何よりも大切なのだと気付きました。医師は、「病気を診る」というより「人を診る」ものなのだと実感しています。

#### Qこれからの目標を教えてください

医師としての技術や知識を高めることはもちろんですが、臨床研究などにも取り組んでいきたいと思っています。また、患者さんの精神面や社会的な立場も考えたケアなど、ただ治療するだけではない、広い視野を持った医師になりたいです。